

腎移植は腎代替療法の一つであるが、最近は透析を経ずに移植を受ける先行的腎移植が増加し、透析後に移植を受ける症例が減りつつある。また、熟年夫婦間の移植が増加し、レシピエント年齢が上昇している。糖尿病性腎症例の腎移植も増加しているのも最近の傾向であり、全国統計でも20%以上を超える比率となっている。このような時代変化に応じた腎移植の準備と対応が必要となっている。

レシピエントの高齢化、内科合併症の増加に伴い、移植待機患者の全身管理は以前より慎重に実施する必要もある。透析患者で献腎移植を待機している症例は、年に一度、移植施設で必要な検査を受けることが2017年より必須条件とされている。平均待機時間が15年を超える献腎移植希望患者は、待機中にさまざまな内科合併症が進行し

てしまうからである。ただし、その検査内容までは指定されていない。腎移植を受けるに当たっては、骨盤内の石灰化動脈硬化は移植術に対するリスク因子である。CKD-MBDの管理は、腎移植待機患者では、通常患者と同等でよい十分にエビデンスはない。ここ数年の間にC型肝炎治療薬が進歩し、ゲノタイプ1aであればほぼ全例、抗ウイルス薬(DAA)で治療可能となった。しかも透析患者でも使用できるDAAが現在発売されている。C型肝炎を有する移植待機患者は、移植前にDAAにて治療を受けることを推奨する取り決めが2017年に発表されている。

腎移植をめぐる最近の話題をこの特集号で学んでいただければ幸甚である。

(西 慎一)

2017年(Vol. 33)特集のご案内

- | | |
|---|-----------------------------------|
| No.① 開かれた透析医療
— Integrated Care の具現化 | No.⑦ 〔増刊号〕透析患者の侵襲性治療 |
| No.② CKD 貧血ガイドライン
— 二度の改訂を巡って | No.⑧ 予後改善を目指した透析医療 |
| No.③ 透析医療に携わる看護職の人材育成と
チーム創り | No.⑨ 透析医療における情報技術の進歩・展
開 |
| No.④ 透析患者の薬剤処方
— ポリファーマシーを考える〔特大号〕 | No.⑩ 維持透析患者の喪失感—理解・克服へ
の支援 |
| No.⑤ オンラインHDF—展開と課題 | No.⑪ 開かれたCKD 看護の模索—意思決定
を支援する |
| No.⑥ 創造する透析医療—新たなmodalityへ
の期待と課題〔特大号〕 | No.⑫ 透析患者向け治療食の最先端 |
| | No.⑬ 透析スタッフにとっての腎移植—直面
する臨床的課題 |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.33 No.13

© 2017 年 12 月 10 日発行
定価：(本体 2,400 円＋税)

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.co.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541